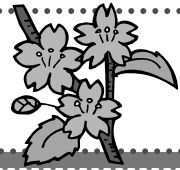


# 関平だより

平成20年4月号



発行 霧島市営 関平鉱泉所  
0120-235-524  
定休日 第1及び第3火曜日

## 霧島の歳時記

『花は霧島、煙草は国分』と昔から唄われていますように、3月末から霧島の花のシーズンが始まっています。すでに3月の龍馬ハネムーンウォーク in 霧島で、菜の花いっぱいの野のウォークを楽しまれた方もあるかもしれませんが、山では大浪池周辺のマンサクの花が見られます。4月に入るとハルリンドウ、ノカ



イドウと霧島を代表する花々の時期が始まります。5月になればキリシマミツバツツジ、ミヤマキリシマと続きます。

以前は、関平鉱泉の周辺でも命のせんたく場(柳平)で、菜の花が4月の半ばまで見事な景観を作っていましたが、現在はなくなってしまったので本当に残念です。しかし、少し息を切らせながら登った「命のせんたく場」で、春の心地よい風に吹かれながら牧場風景や連なる山々を見ると、ちょっとしたストレスは吹き飛んでしまいます。



ミヤマキリシマ

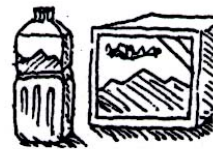
春爛漫、花の霧島を満喫してください。

## ご報告

### 賞味期限について

賞味期限は、各メーカーがそれぞれの判断で決めています。関平鉱泉では、生産した商品を毎日保存して賞味期限経過後に全てをチェックし、その期限の正しさを確認してきました。今回は一歩進めて、最も過酷な条件で飲用を続けた場合について、鹿児島県環境技術協会のご協力のもとに試験を実施しました。その結果、すべてをクリアしました。

関平鉱泉は間違いなく安全・安心な水ですので、安心してお召し上がりください。



関平鉱泉水

## 原田丑太郎感謝祭(湯の神まつり)

この4月は、関平鉱泉を約180年前に発見した「原田丑太郎」の慰霊祭が行われます。場所は、渓谷沿いにある泉源地横の原田丑太郎の碑と小さな社のある所です。本年も市長や副市長始め三役が列席して、和氣神社の神官のもと厳かに執り行われます。

ところで、原田丑太郎が関平鉱泉を発見した由来を知る人も、今では少なくなりました。そこで、以前にもご紹介しましたが、感謝祭が行われるこの機会に過去の牧園町資料から再録いたします。



今からちょうど180年位前の天保3年当時の踊郷三体堂村字田方に、原田丑太郎という田舎武士が住んでいた。ある晩、丑太郎に向かって「汝 丑太郎よ、よく聞け。ここを流れる田方川をさかのぼれば、必ず温泉の湧出するところあるべし。この温泉を用ゆるときは諸々の病に卓効あり。夢々疑うことなかれ」と神のお告げがあったのである。

目覚めた丑太郎は一子伝内を伴い、当時のこととで難儀に難儀を重ねて田方川をさかのぼること7日目にして、ついに上流の巨大な岩石の上から湧出する温泉を発見したのである。人跡未踏の未開の場所。温泉開発は当時としてツルハシ1本さえない時代ゆえ、言葉には言いつくせない難儀の連続であったが、こうして関平温泉ができあがったのである。

温泉の効能は客から客へと伝わり、近い人は日帰り、遠い人は泊まり。飲んでよし、入ってよし。すばらしい効能を知った遠近の里の人たちは、たとえ病気でなくとも怪我やデキモノができたりますと、必ずと言ってよいほど訪ねてくるようになり、大繁盛するに至ったのである。その後も幾多の変遷を経ながら現在の関平温泉は、町民はもとより県内外の多くの人を知る天下の名泉となっている。温泉発見から180年経った今も何の変わりもなく湧き続けており、効能においても衰えを知らず、関平の名声は高まるばかりである。

関平鉱泉は無色透明で飲んでおいしい水として、近年の名水ブームに拍車をかける結果となっている。人から人へ、あるいは口から口へと言い伝えられ、利用者は今や全国的に広がりつつある。



(この内容は、原田家で代々口伝えされていたものを5代目 重之が丑太郎の孫である研介及びひ孫であるナカから聞き取り文章化したものを、現代の口語体書き直したものである。なお、神示により発見されたことは、発見人の原田丑太郎本人が建立した碑文にも記載されている。)

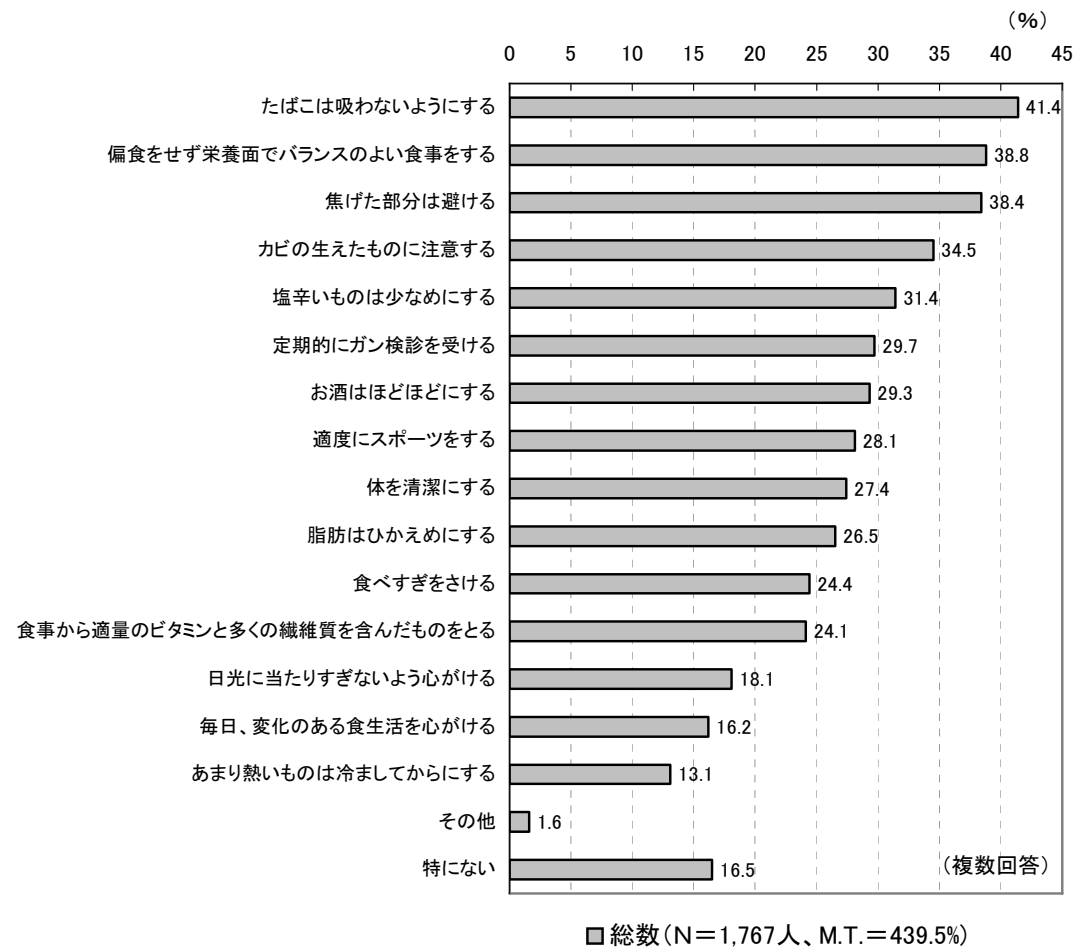
## 健康知識 その3.

【私たちが行っているガン予防策】 前号では、ガンによる死亡が一貫して上昇を続け、昭和56年以降の死因順位1位でおよそ3人に1人の割合になっていること。そして、その発症が人生の男盛り、女盛りの50才代から増加してくることを説明しました。

このように悪性新生物（ガン）が長寿への大きな障害となっており、ガンにかからないことが健康であるために大切だということがわかります。

それでは、私たちはガン予防のために普段からどのような心がけや生活をしているか、内閣府が昨年行った『ガン対策に関する世論調査』に見てみましょう。やはり「タバコを吸わないようにする」が1位であり、以下、「偏食をせず、栄養面でバランスのよい食事をする」「焦げた部分は避ける」と続いています。

「ガン」を予防するための実践



次号では、専門家のすすめるガン予防法について記してまいります。

## ご提案

食品業界は、昨年の偽装問題に引き続き、今年も中国製ギョウザの問題があり、消費者からの信頼を失っています。安全・安心を求める声や小麦等輸入食品の大幅な値上りの中で、日本の食糧自給率が39%という先進国では並外れた低さも問題になっています。そこで今、米がクローズアップされています。米は小麦と違って加工しなくても、そのまま食べても大変おいしいのです。たとえば「おにぎり」ぜひ一度、お米を「関平鉱泉」で炊いて、おにぎりにしてみてください。そのおいしさに、いっぺんにお米ファンになります。冷めても、これまた旨いのです。



日本の食糧自給率は、関平鉱泉でお米を炊くことから高めましょう。

## お客様の声

【ご意見】 いつも郵便振替で支払っているが、青振込票(振込手数料お客様負担)ではなく、赤振込票(振込手数料関平鉱泉所負担)にならないか？

【お答え】 確かに、お客様としてはその通りでしょう。しかし現在は、現金書留も銀行振込も代引き手数料も全てお客様負担となっています。もし、郵便振替の振込手数料を鉱泉所負担に変更すると、公平性を保つには他の手数料も全て変更しなければなりません。これには大変な困難がありますので、申しわけありませんが現方式でご理解いただきますようお願いいたします。

## 編集者のひとりごと

【お客様アンケートの集計報告】 1月末で締め切りましたお客様アンケートは、只今、お一人お一人のご回答やご意見をパソコンに入力中です。約3000通もいただきましたが、半数近くの入力がやっと終わりました。結構時間がかかりますので、この調子ですと入力を終えるのがいつになるのか心配です。しかし、大変貴重なご意見ですので、がんばってまいります。なお、お客様の個人名・住所等の個人情報は一切入力しておりません。純粋にご回答やご意見のみをデータとして活用させていただきますので、ご安心ください。

